

サハリン 2 開発の環境問題に日本はどう応えるべきか

～ 現地 NGO リシツイン氏来日～

今夏、日本の商社が参入するロシア・サハリン 2 石油天然ガス開発に対し、ロシア政府が事業承認の取り消しを決定しました。理由は環境法規違反でした。承認の取り消しはいまだ発効されていないものの、ロシア政府による環境影響の調査は現在も続いています。

この 2 兆円規模の巨大開発を中止に追い込むほどの「環境問題」とはどのようなものなのでしょうか。この度、サハリンの東部で鳥獣保護区の指定を実現した実績を持ち、サハリン 2 石油天然ガス開発の環境問題を 10 年来訴え続けてきた NGO「サハリン環境ウォッチ」の代表ディミトリ・リシツイン氏が来日します。現地の生の話を聞き、日本が直面している問題を考えたいと思います。

11 月 29 日(水)に東京で以下のセミナーを開催します。皆様ぜひお誘い合わせの上、ご参加ください！

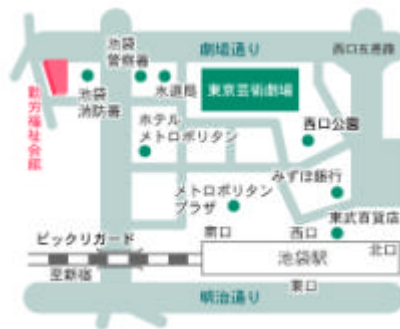
日時：

11 月 29 日(水) 18:30～20:45

場所：

豊島区立勤労福祉会館 6階 大会議室
東京都豊島区西池袋 2-37-4

Tel :03-3980-3131



参加費：無料

当日のプログラム(予定)

司会・進行：村上 正子 (国際環境 NGO FoE Japan)

- 1.石油天然ガス開発からサハリンの自然を守るために ～サハリン 2 の環境問題を事例に～
ディミトリ・リシツイン氏 (サハリン環境ウォッチ代表) * 逐次通訳
- 2.日本からみたオホーツク海をとりまく自然環境と開発によるリスク ～サハリン・北方四島での調査報告等
小林 万里 氏 (北の海の動物センター事務局長 / 東京農業大学生物産業学部アクアバイオ学科講師)
- 3.サハリンに見える日本の問題
佐尾 邦久 氏 (海洋工学研究所社長)
- 4.総合討論



<サハリンの雄大な森林を走る河川>



<サハリン 2 現場近くの大鷲>



<サハリン 2 パイプライン敷設工事>

主催：国際環境 NGO FoE Japan

協賛：北海道ラプターリサーチ

お申し込み、お問い合わせ：国際環境 NGO FoE Japan 村上

電話：(03)6907-7217 ファックス：(03)6907-7219 Mail：sakhalin@foejapan.org